

松田學鶴 まつだ まなづか 漢詩人、朝鮮交渉史研究家。元治元年七月七日陸奥國會津若松生れ、昭和二十一年七月十七日没（一八六四—一九四五）。諱甲、字忠信・十幹・有信。別號味茶香草堂主人、愛雪、皆漫等。明治十一年上京、攻玉社に入り土木學を學ぶ。のち參謀本部測量士、朝鮮總督府土地調査局監督官として鮮滿、臺灣、蒙古の測量に従事した他、朝鮮關係史蹟研究に當つた。傍ら森槐南、野口寧齋、本田種竹の師事して漢詩人としても知られ、文蹟更に和歌、俳諧に及んだ。

著書に『朝鮮史話』（第一編再版・昭和二年二月二十五日、第五編・四年八月二十日京城・朝鮮總督府）、『朝鮮雜記』（訂正再版・昭和二年二月二十日京城・朝鮮總督府）、『朝鮮の今昔 歷代篇』（昭和二年二月二十日京城・朝鮮總督府）等。